

令和2年度第2回竹原市地域公共交通会議

日時：令和3年3月24日（木）10時00～

場所：竹原市役所3階 委員会室

1. 開会

2. 議題

○議案第1号 協議案件 竹原市デマンド交通実証運行事業の実施について

(事務局より資料に基づき説明)

(質疑応答)

- ・運行手法のところ、登録できる方は原則吉名地区、仁賀地区に在住の方で、地区外も登録可能とある。その場合条件はあるのか。
- ・(事務局) 条件を作る予定はない。
- ・竹原在住の方で別の地区の方が登録することは可能か。その場合、仁賀地区から中心部までの途中に降りることができないことで良いか。
- ・(事務局) 竹原市の方であれば、基本的には登録は可能。仁賀地区と中心部を結ぶルートなので、仁賀から仁賀への移動でも使えない、仁賀から中心部に行く途中で降りることもできない。
- ・予約を受け付けるところはどこか。
- ・(事務局) 予約の受付はタクシー業者に個別に直接連絡していただく。
- ・急な外出などで利用したい場合はどうするのか。割引については、例えば定期券やパスポートなどで実施する予定はあるか。
- ・(事務局) 原則は前日の18時までという設定をしており、予約を受けた後、次の日の運行のためのルートを決める。実証運行は、そういった形で対応させていただく。ただし、運行しながらこういった形がいいのか様子を見る。チケット制については、運転手があまり負担にならない方法で考えている。実施していく中で、あまりいい方法でない場合は、実証運行をしながら、別の方法を考えていきたい。
- ・チケットは運転手が降りる方に渡すのか。負担にならないか。
- ・(事務局) 運転手が降りる際に渡すものである。他市町では、回数券で実施しているところもあるが、実証運行終了後、その回数券が余った場合など、結果として市民の方が不利益になる可能性もあるため、チケット配付案としている。
- ・スタンプ制はどうか。
- ・(事務局) その案も検討した。タクシー業者と協議をする中で、チケット配付の方が運転

手の負担が少ないということになった。

- ・要支援・要介護の高齢者に対する割引の検討はあるか。
- ・(事務局) 料金設定を安くしており、高齢者の割引については、今回は想定していない。
- ・交通事業者的な目線と言えば、継続してサービスを提供できることが、前提条件で重要になってくると思う。運行曜日については、地元の方の要望、若しくはリサーチした上でのものだと思うが、福祉的な意味合いが強い交通モードは土曜日の午後は病院が休みのところも多い中で、利用が伸び悩むのではないかと思う。仮に利用がない場合は、運休となると思うが、事業者運営に当たってどういった形態をとられているか。
- ・(事務局) 人件費や車両維持費は固定費といった形態での委託を行うことを考えている。運休となった場合でもその部分は補償する形で支払う。
- ・今回の議案に関して、特に反対のご意見はなかったようだが、この議案についてご異議なしということよろしいか。

(異議なし)

○議案第2号 協議案件 竹原市福祉バス運行ルートの変更について

(事務局より資料に基づき説明)

(質疑応答)

- ・資料の廃止になる路線については、廃止：黒色、新規：赤色など凡例があった方が分かりやすい。
- ・(事務局) 運輸局へ提出する資料については、そういった形で準備する。今後の会議についてもそのような形で対応していく。
- ・今回新たにルートを追加するが、地域の方の要望があつてこういった提案をしているということよろしいか。
- ・(事務局) いろんな形での要望や、意見をいただいた中でのルートの見直しであるのとあわせて、もともと公共交通が走っていない区域を確認していく中で設定したものである。
- ・昨年も一部変更しているが、ルートを変更することによって利用者数の見込みは予想されているか。
- ・(事務局) これから実証運行を行っていく中で、利用者数は分析することになる。あわせて、令和2年4月から行ったものも踏まえて、今後の見直しに向けて検証していきたい。
- ・実証運行ということで、令和4年3月末まで実証運行の結果は、この会議で示していただいた上で、見直しが必要ということであれば、見直しし、本格的な運行に向けて進めていただきたい。
- ・この議案第2号につきましては、異議なしということよろしいか。

(異議なし)

○議案第3号 協議案件 竹原港竹原駅⇄広島空港線の運賃改定について

(事務局より資料に基づき説明)

(質疑応答)

・現在の空港アクセスの路線バスの状況だが、広島リムジンは、前年度比で利用者数は2割から3割で推移、白市～広島空港線については、前年度比の約5割減少となっている。他の路線の利用は2割減で推移しているため、空港アクセスの路線のみが突き抜けて利用が悪い状況は続いている。

・この路線は、観光の方の利用が多かったと路線と思うので、利用状況は、おそらく広島リムジンと同じく1割2割ぐらいの利用状況で推移しているのではないかと思う。

・その中で、引き続き運行を継続していくためには、運賃の値上げという部分に関しては、利用者の負担で仕方がない部分もあるのかと理解をしている。

・通常では、上限運賃として届出を行うと思う。1,000円から1,500円ということになると、2割以上の値上げであるため、協議運賃ということで届出をするということでは問題ないか。

・(事務局) 事前に運輸局には確認させていただき、協議運賃としての届出で提出することになっている。

・この議案第3号につきましては、異議なしということよろしいでしょうか。

(異議なし)

○その他

(意見交換)

・高齢者の方の運転免許の返納をした場合、公共交通に困るということで、他市町では運転免許の返納後にデマンド型交通の補助などを実施しているところもある。本格運行となった場合にそういったことも検討するなど、警察とも連携しながら、免許返納をする方に対して安心感を与える支援策などを検討してもらい。

・(事務局) 様々な方面で話があり、今後必要なことであると思っている。本格運行に向けた時にどのような形が良いのか、関係課と連携しながら協議していきたい。

・実証運行期間中に利用実態調査をする機会があれば、免許返納者の方がどのくらいデマンド型交通を利用されるのか把握できれば良いと思う。

・バス・船・タクシーなど市内市外運行している交通事業者がそろっている。公共交通の現状は、新型コロナウイルス感染症の影響で利用の状況が落ち込んでいる状態が続いている。これを機会に公共交通を利用いただくなど、皆様のお力添えをいただければと思う。

・事業者は換気対策や除菌対策など、しっかり対応し、運行されている。公共交通を利用する機会を少しでも増やしていただけると良いと思う。